

(A) BW: 20.3~40.0 g、海水馴化直後
実験期間: 8月1日~8月8日

(B) BW: 18.8~57.6 g、海水馴化直後
実験期間: 8月7日~8月16日

図-19 ティラピヤ ニロチカの塩水飼育水中における成長

2回の実験結果とも 1/2海水区 (S = 19.22~20.82‰) までは 淡水区との間にほとんど差はない。2/3海水区 (S = 24.80‰) 及び非希釈海水区 (S = 32.63~34.62‰) では、増重倍率は小さくなる傾向があり とくに非希釈海水区では淡水区及び1/2海水区との間に顕著な差が認められた {t = 4.434 > t(14, 0.01) = 2.977}。

ティラピヤの一種 (福寿魚)

海水馴化直後と3週間経過後の供試魚 (BW: 2.06~4.72、BW: 6.5~14.8 g) について、それぞれ14日間と7日間の飼育及び魚体重測定の結果を表-23、増重倍率を図-20に示した。

表-23 (A) ティラピヤの一種 (福寿魚)

9月18日~10月2日

試験区	塩分濃度 (S = ‰)	供試魚			増重倍率		総増重量 (g)	給餌量 (g)	増重倍率		総増重量 (g)	給餌量 (g)	
		N	av (g)	r (g)	(g)	av			r	av			r
Fresh water	0.04~ 0.05‰ 以下	5	2.87	2.06 ~3.40	14.34	1.59	1.54 ~1.68	8.51	16.4	2.62	2.33 ~2.99	23.21	40.7
1/3 sea water	12.01 ~12.72	5	2.98	2.20 ~4.07	14.89	1.61	1.52 ~1.66	9.06	14.1	2.51	2.36 ~2.72	22.50	33.6
1/2 sea water	17.10 ~18.73	7	3.66	2.75 ~4.72	25.64	1.69	1.59 ~1.78	17.69	22.5	2.58	2.43 ~2.73	40.59	68.0
non diluted sea water	33.24 ~34.61	4	3.06	2.10 ~3.90	12.25	1.45	1.21 ~1.70	5.87	18.0	2.32	2.18 ~2.54	16.15	32.4

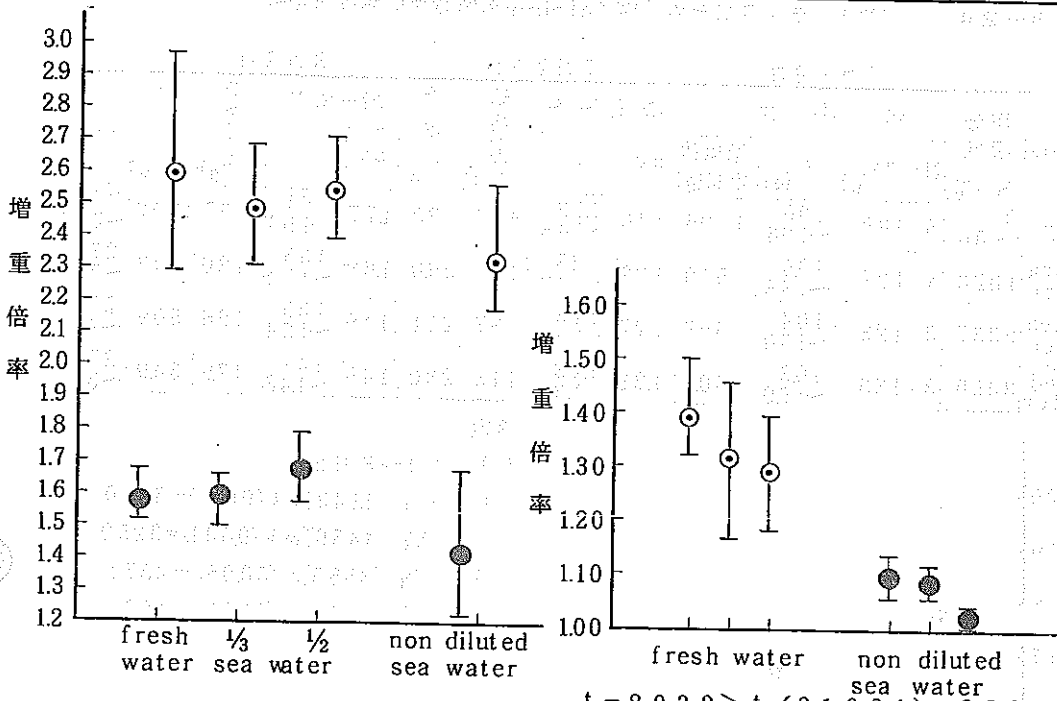
W.T 27.0~29.5 9月18日

9月26日

10月2日

(B) 海水馴化3週間後

試験区	塩分濃度 S = ‰	供試魚				増重倍率		総増重量	給餌量	備考
		N	av (g)	r (g)	総魚体重	av.	r			
淡水	1	0.04	6	11.5	8.4~13.0	68.7	1.40	1.32~1.51	27.4	245~28.0°C
	2	0.05‰	5	9.4	6.7~12.6	40.4	1.32	1.17~1.45	14.8	
	3	1X下	4	9.22	6.5~14.8	36.9	1.27	1.18~1.40	12.5	
海水	1		3	9.8	9.5~10.0	29.4	1.10	1.60~1.18	3.0	240~28.0°C
	2	33.58 ~33.97	3	10.5	7.5~13.2	31.6	1.11	1.61~1.14	3.4	
	3		2	12.1	11.2~13.1	24.3	1.18	1.11~1.26	0.4	



○: 14日目
●: 8日目

●: 1/2と3/4間で $t = 2.783 > t(9, 0.05) = 2.262$

○: 1/2と3/4間で $t = 3.317 > t(9, 0.01) = 3.250$

(A) BW: 206~490 g、海水馴化直後
実験期間: 9月18日~10月2日、
1978

(B) BW: 65~148、海水馴化3週間後
実験期間: 10月9日~10月16日

図-20 ティラピヤの一種(福寿魚)の塩水飼育水中における成長